

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標 7月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘



- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/naranooka/>

思いやりいっぱい

校長 中嶋 弘喜

日差しがまぶしい季節になりました。花壇の花や野菜は青空にむかって元気に育っています。とりわけヒマワリは、勢いよく太陽に向かって一直線に成長しています。いよいよ夏本番というところです。学校では水泳の学習もはじまりました。校長室に子どもたちの大きな歓声が聞こえてきます。水遊びだけでなく、しっかりと泳ぐ力と泳げる自信をつけてほしいと願っています。

毎年行っている芸術鑑賞会が先日行われました。今年は、劇団K I Z N A工房さんのコミュニケーションを体感する演劇「人間になったサル」を鑑賞しました。前日から準備が行われ、すっかり普段とは違う雰囲気のある体育館に、子どもたちは入場した時から劇の世界に引き込まれていました。人間「ヒカル」の力を借りて仲良しのサルの「リク」と「カイ」が、言葉を話せるようになり人間になっていく物語で、3人（一人と2匹）の登場人物が子どもたちに呼びかけたり、問いかけたりしながら、心の通うコミュニケーションの大切さを考えさせてくれました。劇団の方も、奈良の丘小学校の子どもの素直なリアクションと劇を楽しんでくれる様子にとっても感激しましたとコメントをいただきました。また、私たちが伝えたいことが子どもたちの中に残ってくれることを望んでいるとも話されていました。

通信機器やゲームの世界を通して行われることが多くなったコミュニケーションは現代社会では不可欠であり、今後も発展していくことでしょう。それを使いこなす能力を身につけることはもちろん重要なことですが、表情やしぐさ、声の質や抑揚で伝わるノンバーバルコミュニケーションを子どもたちには大切にしてほしいと思っています。誤解や疑惑を招き、不安や恐怖を与えてしまうコミュニケーションでは、信頼できる友達や仲間ができるとは思えません。

言葉や文字で表された以上に相手を理解することが「思いやり」です。奈良の丘小学校の子どもたちは、「思いやり」もいっぱい成長していけるよう努力していきます。

あかね台中ブロック小中合同授業研究会 6/18

本校において、あかね台中学校の先生も参加して、授業研究会を行いました。

当日は2年3組の体育と5年3組の国語の授業を参観し、義務教育の9年間を見据えた授業のあり方について意見交換がなされました。これからも、あかね台中学校と連携して取り組んでまいります。

